

**記入もれがないかご確認いただき、
災害状況明細書に添付してください。**

災害状況明細書記入チェック表①

各記入項目の記載事項・注意事項を参考にして、災害状況明細書を記入してください。記入後、再度記入もれがないか確認し記入されているれば、記入チェック欄にチェックを入れてください(記入もれが大変多くなっていますので注意してください)。

住居の部

記入項目		記載事項・注意事項	記入 チェック
①	加入者等記号・番号	資格情報のお知らせ・資格確認書等に記載されている加入者等記号・番号を記入してください。	☐
②	加入者氏名	加入者氏名を記入してください。	☐
③	被扶養者の有無	被扶養者の有無を○で囲んでください(被扶養者とは、私学共済制度における被扶養者です。税法上の扶養親族とは異なりますので注意してください)。	☐
④	被扶養者ありの場合は同居・別居の別	<u>③で有と回答した場合</u> 、その被扶養者が同居か別居しているかを○で囲んでください。	☐
⑤	住居(区分)	1～4のいずれかを○で囲んでください(4の場合は、具体的に記入してください)。	☐
⑥	総面積	1. 登記簿謄本や賃貸契約書を参考に記入してください。 2. 住居外にあるガレージ、倉庫、納屋、門、塀、垣根は住居に含まれません。	☐
⑦	被害面積	り災証明や⑪⑫の住居平面図等を参考に記入してください。	☐
⑧	家屋の時価	購入した時の価格ではなく被災した時の価格を記入してください。同じ地区の同規模の住居の価格を参考にしてください。	☐
⑨	家屋の損害額	修理費用ではなく、家屋の時価に占める損害部分に相当する金額を記入してください。	☐
⑩	構造	木造・鉄骨・その他のいずれかを○で囲んでください(その他の場合は具体的に記入してください)。	☐
⑪	形態	平屋・二階建て(二階建て以上を含む)・集合住宅のいずれかを○で囲んでください(集合住宅の場合は、居住階数を記入してください)。	☐
⑫	住居(区分)	<u>④で別居とした場合は記入してください。</u> 被扶養者が別居している場合は、加入者及び別居の被扶養者それぞれの住居を合算したものに対する損害になりますので、もれなく記入してください。 記載事項・注意事項は上記⑤～⑪の加入者の住居と同様となります。	☐
⑬	総面積		☐
⑭	被害面積		☐
⑮	家屋の時価		☐
⑯	家屋の損害額		☐
⑰	構造		☐
⑱	形態		☐
⑲	災害の原因	「令和8年熊本地震」と記入してください。	☐
⑳	災害の状況	地震の場合は損害の程度が判別しにくいいため、具体的に詳しく記入してください。記入しきれない場合は別紙(用紙自由)に記入して添付してください。	☐
㉑	加入者の住居平面図	1. 各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示してください。 2. 被害があった箇所のみではなく <u>住居全体の平面図</u> を記入してください。 3. 住居外にあるガレージ、倉庫、納屋、門、塀、垣根は住居に含まれません。 4. 被害状況のわかる写真などがあれば参考に添付してください。	☐
㉒	別居被扶養者の住居平面図	<u>④で別居とした場合は記入してください。</u> 被扶養者が別居している場合は、加入者及び別居の被扶養者それぞれの住居を合算したものに対する損害になりますので、もれなく記入してください。注意事項は㉑と同様です。	☐

**記入もれがないかご確認いただき、
災害状況明細書に添付してください。**

災害状況明細書記入チェック表②

家財の部

記入項目		記載事項・注意事項	記入 チェック	
②③	家 財 の 部	品名	1. <u>家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。</u> 2. <u>加入者と被扶養者の分</u> を記入してください。 3. 被扶養者が別居④で別居としている)の場合は、それぞれ別々に記入してください。 4. 被扶養者になっていない人の分は記入しないでください。ただし、世帯で共用しているものは含めてください。 5. 自動車については、通勤用として常時使用されている車が全損し廃棄する場合に限り、損害に含めることができます。その場合は災害状況明細書に「通勤用」と記入したうえで、自動車が廃車された事実が確認できる証明書及び、通勤証明、車の名義が本人または被扶養者でない場合は所有者との関係がわかる「戸籍謄本」等を添付してください。 6. 品目が多く記入しきれないときは別紙(用紙自由)に記入して添付してください。	☐
②④		総数量	品名ごとの数量を記入してください。	☐
②⑤		時価	購入した時の価格ではなく、被災した時の価格を記入してください(記入額＝時価×数量)。	☐
②⑥		被害数量	総数量のうち被害にあった数を記入してください。	☐
②⑦		損害額	修理不能の物は損害額として計上し、修理可能な物は含めないでください。	☐
②⑧		備考	品名ごとに損害の程度(汚損、破損、水損、損害なしなど)、修理の可否を記入してください。	☐
②⑨		時価合計	②⑤の合計額を記入してください。	☐
③⑩		損害額合計	②⑦の合計額を記入してください。損害額の合計が時価の合計の1/5以上となっているかどうかを確認してください。	☐
③①	報告年月日	報告年月日を記入してください。	☐	
③②	加入者氏名	加入者氏名を記入してください。	☐	
③③	事実の確認日	事実の確認日を記入してください。	☐	
③④	学校法人等名	学校法人等名を記入してください。	☐	
③⑤	代表者名	代表者名を記入してください。	☐	